

1. 概要

地図をクリックして表示されるトラック（道）を、希望するルートに従って順次クリックして行き、ルートが決まったら確定。そのルートを GPX ファイルで出力します。

2. 使い方詳細

2. 1 地図の移動、拡大縮小

地図の移動はドラッグ（マウスのボタンを押したまま移動）。拡大縮小はマウスのホイールまたは地図上の[+][−]ボタンで行ないます。

上部にある「地図を移動：」の入力欄に緯度経度を入れて **移動** ボタンを押すと直接移動できます。入力形式は緯度と経度を「,」（カンマ）あるいは半角空白で区切ったテキストです。

下記のサイトの位置データはそのままコピペできます。

- ・地理院地図左下の矢印アイコンをクリックすると出てくる位置表示

例)

36 度 41 分 53.41 秒 137 度 48 分 17.32 秒

36.698170,137.804810

- ・Google Map 右クリックで表示される位置情報

例)

35.631353319507106, 139.26926885090197

- ・ヤマレコ「山のデータ」の山頂位置

例)

北緯 36 度 47 分 55 秒, 東経 139 度 22 分 33 秒

2. 2 トラック（道）の表示

地図を移動し、目的の登山道または道路の近くをクリックすると、その地点を含む地理院地図ベクトルタイル 1 枚分のトラック（道）が表示されます。

青線がトラック、ピンクと紺のドットは各トラックの起点と終点を示しています。トラックの多い都市部では表示に若干時間がかかります。

地図に道を示す線があってもトラックデータが地理院のサーバーに無い場所もあります。また、地図の道とトラックがずれている所もあります。



タベクトルタイルは何枚でも表示出来ますが、トラックの数が多いと地図の拡大縮小の反応が遅くなります。

トラックの多い都市部で地図の拡大縮小を多用する場合は 3～4 枚程度、拡大縮小を行わず移動だけ

なら20枚程度が実用範囲でしょう。トラックの少ない郊外や山間部であればもっと多くても大丈夫です。

トラックが表示されている場所でトラック以外の場所を右クリックすると、そのタイルのトラック表示を消せます。

地図の下にある **track 表示クリア** をクリックすると全てのトラック表示を消せます。

長いルートを作成する時は、途中でルートを確定するかトラック表示を消して、再度地図をクリックしてトラックを表示させてトラックを選択すれば動作が重くなるのを防げます。

2. 3 ルート作成

表示されているトラックを目的のルートの開始点から終了点まで順にクリックしてルートを作成して行きます。選択したトラックは、もう一度クリックするとキャンセルできます。

選択するトラックは連続して繋がっている必要はありません。離れたトラックを選択した場合、先に選択したトラックの終端から次に選択したトラックの一番近い端まで直線でつながったルートになります。

トラックをクリックする順番が変わると正しいルートになりません。

例えば、ルート途中の選択済みのトラックをキャンセルして再度選択すると最終的なルートが乱れます。

この場合には途中キャンセルしたトラック以後の選択トラックを全てキャンセルして、途中キャンセルした所から選択し直してください。

ベクトルタイルのトラックデータは始点と終点の方向に規則性がなく、ルートを確定する際に必要に応じてトラックを反転して接続しています。そのため離れたトラックの接続ではルートが乱れる可能性があります。乱れたルートは別アプリで補正してください。(別アプリは3. を参照)

ルートが完成したら **ルート確定** をクリックします。トラック表示が全て消えて出力するルートが表示されます。ピンクのドットはルートの起点、紺のドットは終点を表します。

ルート選択クリア をクリックすると、全ての選択トラックがキャンセルされます。



1) 間をあけて選択



2) 1)を確定したルート



3) 図の番号順で選択した場合



4) ③-④-⑤で繋がった経路になる

確定したルートが目的のルートと違っていたり、更にトラックを追加する場合は**確定ルート取消**をクリックすると、選択ルートを表示した画面になります。

選択可能なトラックは消えていますが、地図をクリックすれば表示されます。必要に応じて再表示してルートを修正/追加してください。

都市部などで道が多いところはベクトルタイルを多く表示すると動きが重くなるので、ルート選択の途中で一度確定してトラック表示を消し、必要な部分の地図をクリックして選択トラックを追加するという使い方が出来ます。

2. 4 ルートの保存

ルート保存をクリックすると **ファイル名を入力して保存** のリンク表示が出ます。そのリンクをクリックして出てくるダイアログボックスにファイル名を入力して、[OK]ボタンを押すとダウンロードフォルダに GPX ファイルが出力されます。

3. 出力されたルートについての注意

出力された GPX ファイルは位置情報のみで、標高値、時間情報は入っていません。標高値や時間情報の追加、および乱れたルートの補正は GpxEdit2.htm で行えます。

<https://github.com/guchi999/GPXedit>

地理院地図の登山道は、既に廃道になっていて道が無いこともあります。登山等に使う際には十分にご注意ください。

4. その他

起動したとき地図の位置は必要に応じて変えられます。他の場所にしたいときはメモ帳などのテキストエディタで GsiVcector2GPX.htm を開き、上から 6 行目にある下記の行の lat、lon の値を変更して上書きしてください。なお、保存するときは文字コードを UTF8(BOM なし)で保存してください。

変更する行：

```
<script> var lat = 35.853492, lon =138.944226; // 地図表示位置初期値 </script>
```